

< 資 料 提 供 >

平成27年3月25日

里山振興室

担当者 橋場

内線 4646

外線 (076)225-1648

平成26年度能登の里山里海人「聞き書き」作品集の完成及び 平成27年度参加生徒の募集について

世界農業遺産活用実行委員会では、能登の暮らしの中で育まれた生業や技術を将来に引き継いでいくため、平成24年度から、次代を担う高校生が、能登の里山里海に根差した生業や祭礼、伝統技術・文化などに携わる名人（「能登の里山里海人」）を訪ね、その知恵や技術、思いなどを記録する「聞き書き」に取り組んでいます。今般、別添のとおり今年度の作品集が完成しましたので、お知らせします。

また、平成27年度と同聞き書きに参加する生徒を別添のとおり募集します。

記

1 平成26年度作品集について

能登野菜の栽培や定置網漁などの農林漁業に携わる方や、七尾仏壇の制作など伝統技術を持った方など11名の「能登の里山里海人」に能登の高校生（11校から24名の生徒が参加）がインタビューをし、その語り口をありのままに記録しました。

（注）世界農業遺産ポータルサイトからもダウンロードができます。

<http://www.pref.ishikawa.jp/satoyama/noto-giahs/index.html>

配布先

能登地域の中・高等学校、参加高校生及び名人、県内外の関係市町等

2 平成27年度参加生徒の募集について

（1）募集期間：4月13日（月）から5月25日（月）

（2）対象生徒：宝達志水町以北の高校生（2名1組）

（3）応募方法：学校を通じて世界農業遺産活用実行委員会（事務局：石川県農林水産部里山振興室）あて応募用紙を提出して下さい。

さとやまさとうみびと

平成27年度 能登の里山里海人

「聞き書き」参加生徒募集!!

みなさんが暮らす能登には、長年にわたり地域を支え、暮らしに根差した生業(なりわい)や祭礼、伝統技術の維持・継承などに携わってきた方(能登の里山里海人。以下、名人と言う)が多数います。時代の変化とともに、埋もれかけ、失われつつある名人の技や技術、地域に対する思いを取材し、自分たちの住んでいる地域を見つめ直してみませんか?

普段の日常生活だけでは、知ることのできない多くのものに出会え、経験できるまたとない機会です!
新たな発見がみなさんを待っています!!

具体的に
どんなことを
するの?

名人に取材し、「聞き書き※」の手法を用いてその内容を記録します。事前に研修を受講していただいてから取材に行くので、これまで取材の経験がなくても大丈夫です! 研修には他の学校の生徒も参加するので、新たな仲間と出会えます!

※「聞き書き」とは、話し手の言葉を録音し、一字一句すべてを書き起こしたのち、話し手の語り口でひとつの文章にまとめる手法。



どんな人に
取材
できるの?

これまで、米づくりの名人、カキ養殖の名人、輪島塗の名人など地域で活躍する方々に取材をしています。下記のサイトで過去の様子をご覧ください。

http://www.pref.ishikawa.jp/satoyama/noto-giahs/kikigaki_top.html



どんな
スケジュールで
やるの?
どうやって応募
したらいいの?

スケジュール(予定)	
4月13日~5月25日	募集期間
7月下旬~8月上旬	1回目の研修・取材(3日間)
8月~9月	2回目の取材(各自)
10月	2回目の研修(1日)
翌年1月	レポートの提出
翌年2月	レポート要約版の提出
翌年3月	作品集の完成・発表会

応募方法

生徒2名1組で学校を通じてご応募ください。まずは担任の先生に相談してください。



主催:世界農業遺産活用実行委員会(事務局:石川県農林水産部里山振興室)

TEL 076-225-1648

FAX 076-225-1618

MAIL : satoyama@pref.ishikawa.lg.jp

後援:石川県教育委員会